活動報告書　　　　　　　　　　　　　　　　Ｈ30年　3月　23日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開催ブロック | 下関・萩・長門 | 報　告　者 | 山田　真奈美 |

1. 開催概要

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | H30年　2月　22日　、　13時　30分　～　15時　30分まで |
| 会　　場 | 下関市ふれあい会館（アブニール）　研修室 |
| 研 修 名 | 摂食嚥下の勉強会「食べやすい環境づくりを目指して」 |
| 講　　師 | 山口県総合医療センター　リハビリテーション科　診療部長　村田和弘氏 |
| 目　　的 | 嚥下障害について理解を深める。 |
| 参 加 者 | １６名（うち、会員　１６名、非会員　　０名） |

（２）報告事項

|  |
| --- |
| 研　　修　　内　　容 |
| １．講義「嚥下障害について知ろう」  　　　・スクリーニング検査について  　　　・スプーンでの食事介助の仕方  　　　・安全な食物を選ぶポイントと症状に適した食物形態  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　等  ２．実技「嚥下障害の方の気持ちをプチ体験」  　　　・ゼリー・クラッカー・水・アイマスク　等を使用し、咀嚼、嚥下の状態を  体験する。また、介助される体験もする。 |
| 感　　　　　　　　想 |
| ・勤務している施設内にも嚥下障害のある方がいます。どのような気配りをすれば  その方のＱＯＬ保持につながるのか考えさせられた研修でした。  ・自ら嚥下の体験が出来て良かった。  ・スライドを見ることにより、食べ物が食道に通る状態がよくわかった。  ・体験により、介護される側の気持ちがほんの少しですがわかった気がしました。  ・キザミが必ずしも良いわけではないこと実体験できた。  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　等 |
| 備　　　　　　　　考 |
|  |